

事 務 事 業 評 価 シ ー ト

評価対象年度	平成 23 年度
--------	----------

【事務事業の基本的事項】

事務事業名	交通安全市民大会開催費			
担当課係名	環境防災 課	交通防災 係	作成者	木元 康幸
総合計画での位置づけ	施策の大綱	安心・安全で潤いのある生活環境のまち		総合計画のページ 90
	基本計画	交通安全の推進と交通環境の整備		
	主要施策	交通安全運動の推進		
予算費目	一般 会計	2 款 総務費	1 項 総務管理費	8 目 交通防犯対策費
事業期間	平成 - 年度 ~ 平成 - 年度		新規/継続の区分	継続
性質区分	<input checked="" type="checkbox"/> 市民サービス	<input type="checkbox"/> 公共事業	<input type="checkbox"/> 施設維持管理	<input type="checkbox"/> 補助金 <input type="checkbox"/> 内部管理
根拠法令等	-			
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務		<input type="checkbox"/> 法定受託事務	
運営方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直 営	<input type="checkbox"/> 直営 (一部民間委託)	<input type="checkbox"/> 民間委託 (全部)	<input type="checkbox"/> 補 助

【事務事業の実施内容】

事業の対象 (誰のため・何を)	市民、交通安全団体。
事業の目的・意図 (どういう状態にしたいのか)	市民総参加による交通事故防止を図る季別の交通安全運動を推進し、市民の交通安全意識の高揚を図るため。
事業の内容 (どのような業務、活動を行うのか)	<ul style="list-style-type: none"> ・交通安全に功績のあった個人、団体の表彰。 ・講師を招いて「地域の交通安全について」講演を実施している。

【事務事業の推移】

		項 目		単位	23年度実績		
					目標	実績	
効果	活動 指標	参加人数	目標	人	200		
			実績	人	180		
			達成度	%	90.0%		
	成果 指標	交通事故死傷者数 第9次仙北市交通安全計画に基づく	目標	人	87		
			実績	人	90		
			達成度	%	103.4%		
投下 コスト	項 目		総事業費	23年度決算額(千円)			
	事業費 (人件費を除く) (A)			63			
	人 件 費 (B)		—	848			
	財源 内訳	職 員 数	—	0.10			
		職 員 平 均 人 件 費	—	8,479			
		(A) + (B) 投下コスト		—	911		
	財源 内訳	国 庫 支 出 金			0		
		県 支 出 金			0		
		地 方 債			0		
		そ の 他			0		
一 般 財 源			911				
単 位 コ ス ト	活動指標1単位当たりコスト(円)		—	5,061			
	市民1人当たりのコスト(円)		—	31			

【事務事業の今までの成果】

交通安全市民大会を開催することにより、市民及び交通安全関係団体の士気高揚になっている。

【事務事業を取巻く環境】

国・県・他自治体の動向	
事業に対する市民の意見 (事業に対する期待、要望、苦情等)	特になし

【一次評価】

判定	事業の方向性	判定に至った理由
D	A 現状のまま継続（実施）	マンネリ化しており今後の開催については検討が必要である。
	B 1 見直しの上で継続（拡大）	
	B 2 見直しの上で継続（手段改善等）	
	B 3 見直しの上で継続（縮小）	
	C 1 大幅な見直しの上で継続（拡大）	
	C 2 大幅な見直しの上で継続（手段改善等）	
	C 3 大幅な見直しの上で継続（縮小）	
	D 休止・廃止（統合を含む）を検討する事業	
	E 終了（完成及び目的を達成し終了した事業）	

※一次評価の判定がB～Dのときは、下記に必ず記入すること。

【具体的な今後の取組内容（改善の方向性、対象、意図、手段等について記載すること。）

市民の安全、安心を確保するため、交通安全に対する意識の高揚は必要であり、交通安全団体などと協議し検討する。

【二次評価】

判定	判定に至った理由
C 2	交通安全の士気高揚につながる活動と考えられます。今後は、市民一人一人の取組を共有しながら、大会内容の見直し・改善の必要があると考えられます。

